

兵庫県最先端技術研究事業（COEプログラム） 研究結果概要

□研究プロジェクトの概要

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 研究プロジェクト名 | 自動運転航空機(パッセンジャードローン)の市場調査および技術調査 |
| 代表機関 | スカイリンクテクノロジーズ株式会社 |
| 共同研究チーム構成機関 | 日本大学 轟研究室 |
| 研究分野 | 市場ニーズの調査 |

□研究結果の概要

【①研究プロジェクトの概要、特色】

近い将来、普及が見込まれる自動運転航空機（いわゆる「空飛ぶクルマ」）に関し、競争力のある機体仕様の策定を実施している。

機体仕様の策定を行うにあたり、機体構造を決めるための技術調査用模型の作成と、現在想定している 400～1000km が飛行可能な機体についての市場ニーズを調査する。

【②研究の成果】

機体構造について、技術調査用の模型を作成し機構の動作確認を行い、想定している構造が実現可能であることを確認した。

市場ニーズの調査について、既存の航空機（LCC などの大量輸送）にと比較し、300 マイル（480km）～700 マイル（1,120km）の距離帯で 20%程度の需要があり、特に 500 マイル（800km）周辺の距離でニーズが多いことが確認できた。

【③本格的研究への展開】

構造での実現可能性が確認できたため、今後は飛行制御の検討を実施していく。

制御の検討については、2022年度の「成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-tech)」にて実施したいと考えている。

【④今後の事業化に向けた展開】

本事業で検討したサイズの機体を産業用ドローンに、検討した構造を大型化したものを、空飛ぶクルマとして事業化していく予定である。

【⑤地域的波及効果】（技術基盤強化等の効果、地域社会・経済発展への寄与）

現在部品製造でご協力いただいている神戸エアロネットワーク（KAN）との連携をさらに進めてゆき、産業用ドローンに向けた部品の量産化の検討や、空飛ぶクルマに向けた航空機品質の大型部品の製造検討などを実施し、兵庫県の航空機産業の発展につなげてゆく。